令和6年5月10日

福知山市議会議長 田渕 裕二 様

予算審査委員会委員長 高橋 正樹

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・議第1号 令和6年度福知山市一般会計補正予算(第1号)
- ・議第3号 財政調整基金の繰入れについて

2 審査の概要

5月8日に委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。各所管部署より詳細な説明を受け議案審査を行いましたので、主な概要について報告します。

初めに、議第1号の新文化ホール計画策定事業について、「今回の補正で減額補正となっているが、執行額の算定根拠」を問う質疑があり、「委託料の減額根拠については、昨年度に締結した2つの契約によるものである。事業運営計画支援業務では計2回開催した検討委員会に係る資料作成やそれらの資料に用いるデータ整理等の業務を既に実施してきている。また、基本設計支援業務については、プロポーザルを行うにあたっての委員選考や公開プレゼンテーションの事例調査などの作業を進めてきた。そうした中で、業務内容を精査して、最終的にその中身を市と委託業者において確認した上で、金額を確定したものである」との答弁がありました。

次に、新文化ホール計画再検討事業について、「再検討委員会の委員構成」を問う質疑があり、「基本構想、基本計画の委員の中から3人ほど残ってもらう他、公募委員として若者、子育て世代、まちづくり関係で活動されている方から4名を考えている。また、例えば市民憲章推進協議会から1名、基本計画を計画通り進めていただきたいという請願を出された代表者から1名、基本計画の見直しの住民投票条例の制定を求められた請願を出された代表者から1名として、合計10名で構成したいと考えているが、具体的な人選については、依頼する中で整理をしていきたい」との答弁がありました。

続いて、「事業費内訳にある先進地の視察先」を問う質疑があり、「LINE CUBE SHIBUYA(渋谷公会堂)、日本青年館ホール、よみうり大手町ホール、渋谷区文化総合センター大和田(さく

らホール)、日経ホールなど東京方面で5ヶ所。また、関西方面では、高槻城公園芸術文化劇場、東大阪市文化創造館、堺市立東文化会館、大阪公立大学Uホール白鷺、立命館いばらきフューチャープラザなど、席数としては401席から1956席までの幅を持った施設を視察候補として考えている」との答弁がありました。

次に、調整給付金給付事業について、「定額減税しきれないと見込まれる納税者の見込み数を1万5,000人としているが、いつの時点での計算なのか」を問う質疑があり、「国の所得税の方は、令和6年度については令和5年の所得をもとに推計にて給付を行う。不足分については令和7年度に追加支給することになっている」との答弁がありました。

次に、市議会議員補欠選挙執行事業において、「市長選挙と同日になる市議会議員補欠選挙に係る職員の増員数と開票立合人の報酬計上」を問う質疑があり、「投票事務や開票事務などの延べ人数でみているので、単純に何人増員というのは難しいが、人数として197人、超過勤務等の時間として621時間の職員手当等の増額補正をしている。また、市長選挙と市議会議員補欠選挙は別の選挙になるので、それぞれに開票立会人を依頼することとなる」との答弁がありました。

なお、議第3号についての質疑はありませんでした。

次に討論を行いました。

反対討論

- ・ 議第1号について反対する。新文化ホール計画策定事業について、令和6年度当初予算で予算化されたが、今回減額補正をした後、新たに新文化ホール計画再検討事業として提案していることについては、計画性が見られず、再検討の予算執行が次の計画に有効に生かされるか不明確である。また、住民投票に反対の立場での再検討は市民の意見を反映した新文化ホールの再検討事業とならないことが見込まれるため反対する。
- ・ 議第1号について反対する。以前から再検討については反対の立場をとっており、市長が住民投票の結論が出ないうちに再検討を打ち出すことについて疑念を持っているため反対する。

賛成討論

- ・ 議第1号について賛成する。新文化ホール計画策定については既に表明をされている見直しにかかる費用が適正に予算計上されている。また、物価高騰対策にかかる費用の計上や定額減税に対応した予算措置など適切に予算措置をされていることから全てに賛成する。

3 審査結果

- ・ 議第1号 賛成多数で原案可決
- ・ 議第3号 全員賛成で原案可決